FTD-G18AG-Iシリーズ
ユーザーズマニュアル

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、18型カラー液晶ディスプレイです。

- パソコンのアナログRGBコネクタに接続できます。
- 自動調整機能を搭載しており、画面の表示位置などを自動的に調整できます。【P6】
- スムージング機能を搭載しており、1280×1024ドットよりも低い解像度で拡大表示した場合でも、文字やグラフィックをなめらかに表示できます。【P14】
- 本書は、ディスプレイのみのモデルとマウス付属モデルの両方について、取り扱い方法を説明しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。
なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

本書に使われている表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的障害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告、注意を促す内容を示します。（例： 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例： 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例： プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制

ディスプレイケーブル、ACアダプタは、必ず本製品付属ものを使用してください。
付属品以外のディスプレイケーブルやACアダプタでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

禁止

故障した状態（画面に何も表示されないなど）で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。修理のご依頼は、本書巻末の「修理について」を参照してください。

強制

ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

電源プラグを抜く

落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

強制

乾電池の破裂や液漏れを防ぐために、次のことに注意してください。

- **種類の違う物や、新しい物と古い物を混ぜて使用しない。**
- **分解、改造、修理、充電しない。**
- **電極の＋と－を逆にして入れない。電極の＋と－をショートさせない。**
- **可燃ごみに混ぜたり、加熱しない。**
- **長期間使用しないときは、乾電池を取り出す。**

以上のことを守らないと、液漏れ、発熱、発火、破裂し、やけどやけがをする恐れがあります。

万一液漏れが起こったときは、マウスの電池入れに付着した液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

⚠ 注意

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止

ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。

本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

警告

万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。

使用するとき

注意

シャープペンや鉛筆など先のとがったものに注意してください。

液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

強制

水分はすぐに拭き取ってください。

水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

注意

長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。

禁止

液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。

禁止

パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。

注意

本製品のバックライト（蛍光管）には寿命があります。画面がちらついたり、点灯しなくなったときは、販売店または弊社修理センターにご連絡ください。

お手入れ

禁止

液晶パネルを乾拭きしないでください。

液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール（イソプロピルアルコール）を含ませて、軽く拭いてください。

禁止

溶剤を使用しないでください。

液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意

液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。

液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

直射日光、高温・多湿に注意してください。

直射日光が当たる場所や周囲の温度が40℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

使用条件を守って使ってください。

温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

低温に注意してください。

室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

急激な温度変化に注意してください。

動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。

- 強い磁界が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 静電気が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 振動が発生するところ .... けが、故障、破損の原因となります。
- 不安定なところ .... 転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ ...... 故障や変形の原因となります。
- 漏電の危険があるところ .... 故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。

長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

本製品の廃棄方法について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

本製品の特長

● **さまざまな周波数に自動で対応可能**

FTD-G18AG-I(以後FTDと表記)は、さまざまな周波数に自動で対応する自動周波数追従機能を搭載しています。水平周波数24〜82KHz、垂直周波数30〜120Hzの信号が入力されると、FTDは自動的に周波数を判断し、映像を表示します。

※ **対応する表示モードはP24を参照してください。**

● **自動調整機能搭載**

FTDに信号が入力された場合や、解像度、周波数を変更した場合に、入力信号レベル、表示位置、クロック、位相を自動的に調整します。

● **パワーマネージメント機能搭載**

一定時間キーボードやマウスを操作しなかったときに、自動的にディスプレイの消費電力を低減します。この機能が動作すると、液晶ディスプレイの画面表示が消え、電源ランプが橙色に点灯します。

※ **この機能はVESAのDPMSに準拠しています。VESAのDPMSに準拠したパソコンに接続した場合にだけ機能します。**

● **USBハブ機能搭載**

USB対応のパソコンに接続すれば、FTDをUSBハブとして使用できます。USB対応機器を接続できます。

<2つのアップストリームポート>

2台のパソコンを接続できます。入力信号(D-sub／BNC)の選択に応じて、自動でアップストリームポートが切り替わります。

<3つのダウンストリームポート>

USB対応のキーボードやプリンタなどの機器を接続できます。

● **2系統の映像信号入力**

D-sub15ピンとBNCの2系統の映像信号を入力できます。2台のパソコンを同時に接続し、フロントパネルのD-SUB/BNCボタンで切り替えて使用できます。

※ **本製品には専用D-sub15ピンケーブルのみ付属しています(BNCケーブルは付属していません)。**

● **プラグ&プレイ対応 (Windows98/95のみ)**

FTDはVESA規格DDC1およびDDC2Bに対応しています。この規格に対応したパソコンと、FTD付属の専用D-sub15ピンケーブルで接続すると、FTDの表示解像度、周波数などの情報をパソコンが読み出し、最適な画面表示が行えるようになります。

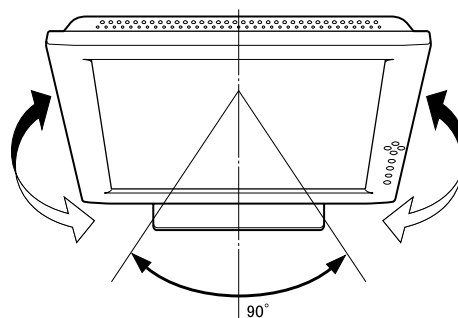
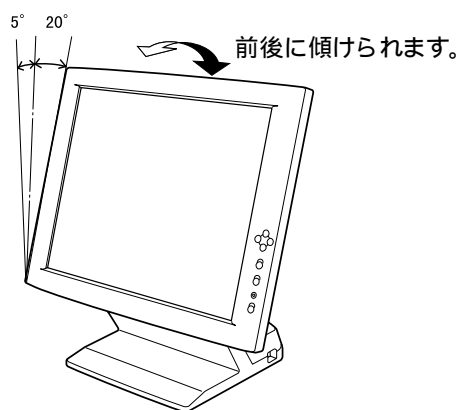
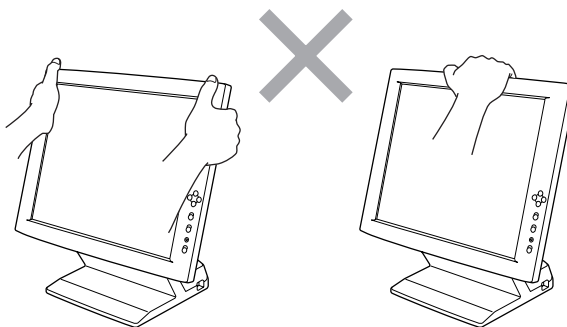
※ **プラグ&プレイに対応できるのは、付属の専用D-sub15ピンケーブルで接続した場合だけです。**

● **ワイヤレスマウス付属 (マウス付属モデルのみ)**

Windows98搭載パソコンのUSB端子と、FTDのUSB端子をUSBケーブルで接続することで、ワイヤレスマウスを使用できます。

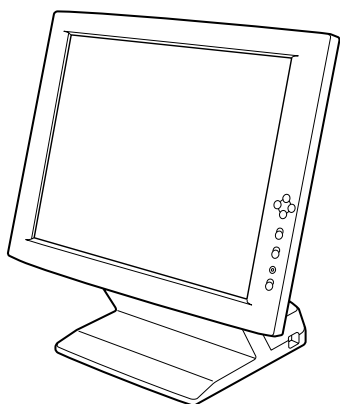
Windows95やWindowsNT4.0などを使用している場合や、USB端子を装備していないパソコンを使用している場合も、パソコンのPS/2マウス端子とFTDのPS/2端子をPS/2ケーブルで接続することによってワイヤレスマウスを使用できます。

● ディスプレイの回転と角度調整が可能

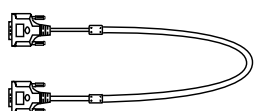
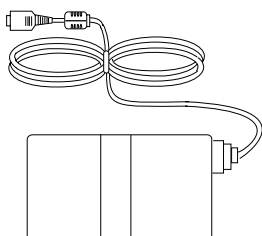
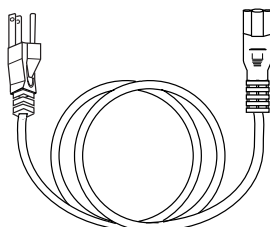
画面の向きを任意に調整できます。

角度を調整するときは、FTDの電源スイッチをOFFにしてください。また、ディスプレイの下部を持って動かしてください。ディスプレイの上部を持って動かすと、FTDが転倒するおそれがあります。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

● FTD（本体） 1台

● 専用D-sub15ピンケーブル 1本

● ACアダプタ 1個

● 電源ケーブル 1本

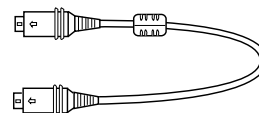
● DC5Vケーブル 1本
※ USBへの電源供給用です。

● USBケーブル（2m） 1本

● 3-2極変換プラグ 1個

● LCD Utility Disk（3.5インチFD） 1枚
※ 自動調整を行っても満足のいく結果が得られなかった場合に使用します。【P20】
※ Windows98/95、WindowsNT4.0用です。その他のOSやMacintoshでは使用できません。

● ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

● 保証書、ユーザー登録はがき 1枚
※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

マウス付属モデルのみに付属

● PS/2ケーブル（1.8m） 1本

● ワイヤレスマウス 1個

● アルカリ乾電池（単4） 2本

各部の名称

● 前面

● 背面

● 接続端子

DC20V入力
（AC電源アダプタより）

DC5V出力
（USBハブ電源）

D-sub入力

BNC入力

G/SYNC　HS/CS

R　B　VS

モニタ端子は背面
下部にあります。
ケーブル接続時は
端子カバーを外し
てください。
【P10】

リモコン受信
信号切替（IDスイッチ）

USB端子（右サイド）
（ダウンストリーム）
マウス、キーボードなどの
周辺機器を接続

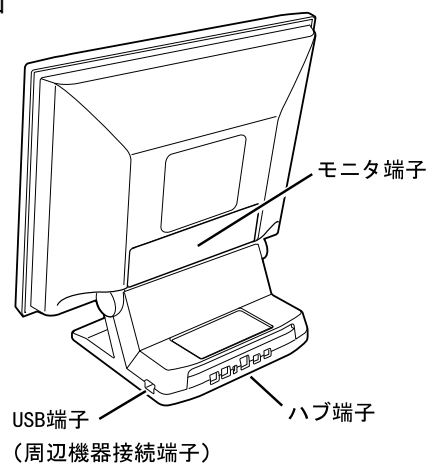
USB端子（2端子）
（ダウンストリーム）
プリンタ、キーボードなどの
周辺機器を接続

⎓5VIN　PS/2　ON　UP2　UP1

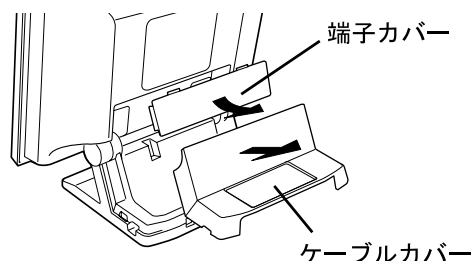
DC5V入力
（USBへの電源供給）

PS/2端子
パソコンのPS/2端子
（マウスポート）へ
接続

USB端子
（アップストリーム）
パソコンのUSB端子へ接続
（D-sub入力へ対応）

USB端子（アップストリーム）
パソコンのUSB端子へ接続
（BNC入力へ対応）

接続　次の手順でパソコンと接続します。

ケーブルは必ずコネクタ部分を持って抜き差ししてください。ケーブル部分を持って抜き差しすると、断線の原因になります。また、使用中にコネクタが抜けないよう、コネクタのネジを完全に締めてください。

1 FTD背面の端子カバーとケーブルカバーを取り外します。

2 付属の専用D-sub15ピンケーブルで、パソコンのアナログRGBコネクタにFTDを接続します。

BNCケーブルを使用する場合は、市販品を別途お買い求めください。
NEC PC-9821/9801シリーズのうち、D-sub15ピン(3列)のアナログRGBコネクタを装備していない機種に接続する場合は、市販の変換コネクタを使用してください。
Macintoshのうち、D-sub15ピン(3列)のアナログRGBコネクタを装備していない機種に接続する場合は、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAを使用してください。【P13「Macintoshを使用しているとき」】

付属品以外のD-sub15ピンケーブルを使用すると、画面表示が乱れることがあります、必ず付属の専用D-sub15ピンケーブルを使用してください。

3 付属のACアダプタをFTDのDC20V入力コネクタに接続します。
付属の電源ケーブルをACアダプタに接続し、ACコンセントに接続します。

ACコンセントが2極式のときは、付属の3-2極変換アダプタを使用してアースを接続してください。

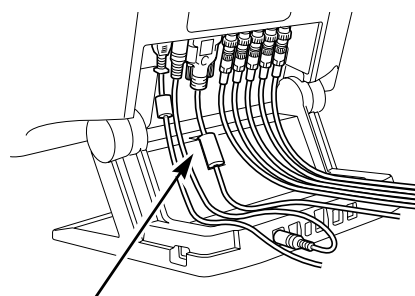
付属品以外のACアダプタや電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因になります。必ず付属品を使用してください。

4 接続したケーブルを整理し、端子カバーとケーブルカバーを取り付けます。

5 FTD→パソコンの順に電源スイッチをONにします。

FTDの電源表示ランプが緑色に点灯します。
次の状態の時は電源表示ランプが橙色に点灯します。画像は表示されません。

- パソコンから映像信号が来ていないとき
  (「NO SIGNAL」と表示されます。)※1
- FTDが対応していない映像信号が来ているとき
  (「OUT OF SCAN RANGE」と表示されます。)※1
- サスペンドモード、パワーセーブモードになっているとき
  (サスペンドモード、パワーセーブモードはキーボードのキーを押したり、マウスを動かすことで解除できます。)

※1 OSDの言語設定によって表示されるメッセージは異なります。

※図は、専用D-sub15ピンケーブルとBNCケーブルを両方とも接続している場合の例です。

● 接続図

パソコン2
パソコン1
BNC出力端子へ
BNCケーブル（市販品）
USB端子へ
USBケーブル(付属品)
FTDのUSBハブやワイヤレスマウスを使用しない場合は接続する必要はありません。
D-sub
RGB出力へ
専用接続ケーブル（付属品）
USB端子へ
USBケーブル(付属品)
FTDのUSBハブやワイヤレスマウスを使用しない場合は接続する必要はありません。
PS/2端子へ（*）
* ワイヤレスマウスをPS/2接続で使用する場合、パソコンを切り替えてマウスを使用することはできません。
USB対応
周辺機器
プリンタ、
キーボードなど
PS/2 ケーブル（付属品）
ワイヤレスマウスを使用しない場合は、接続する必要はありません。
R
G
B
H
V
UP1
UP2
ID
PS/2
5VIN
DC5Vケーブル
（付属品）
AC電源アダプタ
（付属品）
ACコンセントへ
USB対応周辺機器
マウスなど（市販品）

使用する前に　FTDの使用時に必要な設定や知っておいていただきたいことを説明しています。

Windows98/95を使用しているとき

次の手順でFTDのハードウェア情報を登録してください。

※ Windows95の場合は、バージョンによって一部手順が異なります。次の手順でバージョンを確認してください。

① [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。

② 表示されたメニューの[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。

③ [ｼｽﾃﾑ:]に表示された文字列を確認します。この文字列がバージョンを表します。
バージョンは、4.00.950 / 4.00.950a / 4.00.950 B / 4.00.950 C の4種類あります。

1 [コントロール パネル]を開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。

2 [設定]タブ（Windows95では[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細]タブ）をクリックします。

Windows95(4.00.950/4.00.950a)の場合

① [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更(T)] ボタンをクリックします。

② [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類(M)]の[変更(N)] ボタンをクリックします。

Windows98、Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)の場合

① [詳細プロパティ(V)] ボタンをクリックします。

② [モニター] タブをクリックします。

③ [変更(C)] ボタンをクリックします。

3 付属の「LCD Utility Disk」をフロッピーディスクドライブにセットします。

4 [ディスク使用(H)] ボタンをクリックします。

5 [参照(B)] ボタンをクリックします。

6 [ファイル名(N)]から「ftda.inf」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

7 [配布ファイルのコピー元]に「A:\」と表示されていることを確認して[OK]ボタンをクリックします。（下線部は、フロッピーディスクドライブのドライブ名です。）

8 [モデル(L)]に表示された機種名から「MELCO <製品名>」を選択して[OK]ボタンをクリックします。

<製品名>には、お買いあげいただいた製品名が入ります。

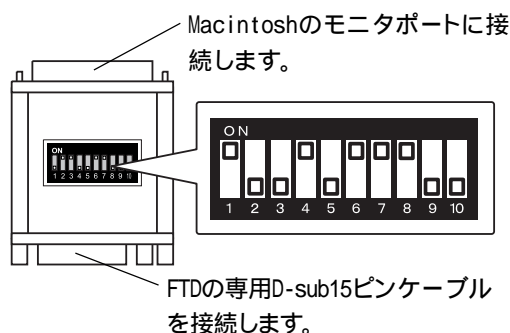
以上で設定は完了です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P15】

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用しているとき

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用している場合は、ハードウェア情報の登録は不要です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。**【P15】**

Macintoshを使用しているとき

FTDを接続するためには、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAが必要です（D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備している機種を除く）。次の手順で接続してください。

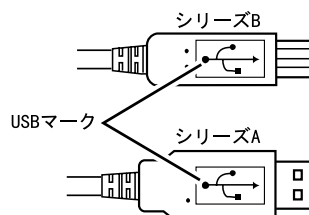
1. **変換アダプタの1、4、6、7、8をONにします。**
2. **FTDの専用D-sub15ピンケーブルを変換アダプタに接続します。**
3. **変換アダプタをMacintoshのモニタポートに接続します。**

FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P15】

※ 機種によっては、パソコンの再起動時に設定を調整し直す必要があります。再起動後に文字がちらつくような場合は、設定メニューの［自動調整］を実行してください。

USBハブ機能について（Windows98のみ）

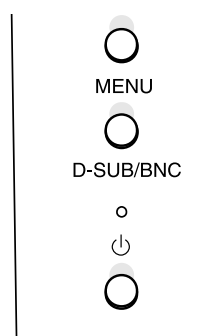
本製品はUSBハブを搭載しています。Windows98搭載パソコンのUSB端子と接続すれば、FTDにUSB機器を接続できます。

FTDを2台のパソコンに接続している場合、FTDに接続しているUSB機器は、現在表示しているパソコンで使用できます。

- **FTDとパソコンのUSB端子を接続すると、［新しいハードウェアの追加］ウィザードが起動します。**
  メッセージに従ってドライバをインストールしてください（同じ作業を4回繰り返します）。
- **FTDの電源ケーブルを抜くと、USBハブ機能は使用できなくなります。**
- **Windows95でのUSB機能の動作は保証しておりません。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。**
- **WindowsNT、Windows3.1/DOS、その他のOSでは、USB機能は使用できません。**
- **USBケーブルのコネクタは、アップストリーム側とダウンストリーム側とで形状が異なります。**
  シリーズAをパソコンに、シリーズBを周辺機器（FTDを含む）に接続してください。

入力信号の選択

FTDには、D-subとBNCの2種類の信号を入力できます。FTD前面のD-SUB/BNCボタンを押すことで、入力する信号を切り替えられます。

一方の信号だけが入力されている場合は、FTDの電源スイッチをONにした際に自動的に入力されている信号が選択されます。

1回押すと、現在選択されている信号が表示されます。表示されているところでもう1回押すと、信号が切り替わります。

FTDの仕様に関して

● **TFT液晶パネルは、精密な技術に基づいて有効画素数を99.99%以上確保できるように作られています。パネル内に0.01%以下の画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがありますが、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。**

● **画面に表示される縞模様（モアレ）について**

2～3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示させると、画面上に「モアレ」とよばれる縦縞の干渉模様が表示されることがあります。これは発光色が相互に干渉することにより発生するもので、故障ではありません。縞模様が表示されたときは、最適な画質を得るために自動調整を行ってください。【P20】

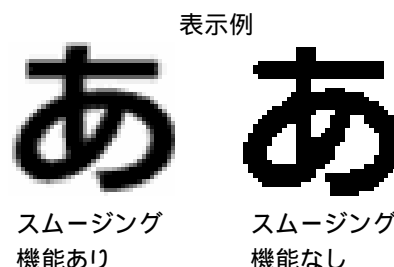
● **本製品の推奨解像度は、1280×1024ドット（SXGA）です。**

● **「スムージング機能」について**

1280×1024ドット未満の解像度を選択している場合、FTDの設定メニューの[位置・サイズ調整]－[拡大表示]で[MODE1]もしくは[MODE2]を選択すると、画面が拡大表示されます。

このとき、文字やグラフィックをなめらかに表示するために、本製品は自動的に中間色を使用した補完処理を行います（スムージング機能）。文字やグラフィックがにじんだように見えることがありますが、故障ではありません。また、白地に黒文字を表示すると見づらいときは、コントラストを調整してください。【P16】

表示例

スムージング機能あり　**スムージング機能なし**

● **静止画を長時間表示すると、画面表示を切り替えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。**

OSのスクリーンセーバー機能などを使用して、静止画を長時間表示しないようにしてください。（白い画面を長時間表示すると、直ることがあります。）

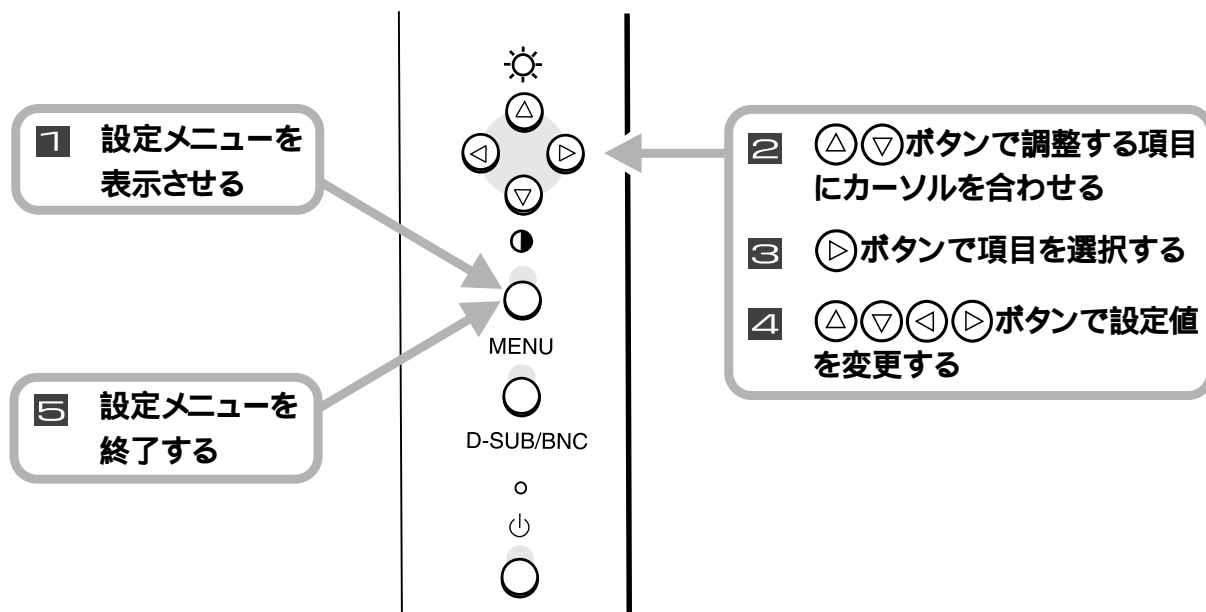
● **パワーマネージメント機能について**

電力消費を押さえるため、一定時間パソコンを操作していない場合に自動的にパワーマネージメント機能が働きます。

パワーマネージメント機能が働くと電源表示ランプが橙色になり、画面表示が消えます。パワーマネージメント機能が働いている状態では、消費電力は7W以下になります。

マウスを動かしたりキーボードのキーを押せば、通常の動作状態に戻ります。

※ **パワーマネージメント機能は、DPMS（VESA）機能を搭載するパソコンに接続した場合にのみ働きます。**

設定方法　OSD機能を使用して画面表示などを調整します。

※ ディスプレイやグラフィックボードによって個体差があるため、複数台で同じ調整を行っても表示結果が異なることがあります。その場合は見た目で判断し、個別に調整してください。

設定メニューの起動と終了

1 **周辺機器（FTD含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

2 **MENUボタンを押します。**

設定メニューが起動し、メインメニューが表示されます。

3 **△▽ボタンを押して調整する項目にカーソルを合わせ、▷ボタンを押します。**

同じ項目内に複数の設定項目があるときは、もう一度上記の操作を行ってください。

4 **◁▷ボタンを押して設定値を変更し、最適な状態になるように調整します。**

項目によっては、△▽ボタンも使用します。

各項目の設定内容は次のページを参照してください。

5 **調整が終わったらMENUボタンを押します。**

6 **設定を変更したときは、「設定内容を保存しますか」と表示されます。保存するときは▷ボタンを押します。**

設定メニューが終了します。

設定内容

	項目	内容	設定範囲
画面調整	明るさ	画面の明るさを調整します。◁を押すと暗く、▷を押すと明るくなります。	1〜32
	コントラスト	画面の濃淡を調整します。◁を押すと淡く、▷を押すと濃くなります。	1〜32
	BLACK LEVEL	画像の黒レベルを調整します。画面の暗い部分が見えにくかったり、黒色部分が明るすぎるときに調整します。	0〜31
	赤/緑/青	各色のレベルを変更し、色のバランスを調整します。◁を押すと淡く、▷を押すと濃くなります。	1〜32
	EXIT	前の画面に戻ります。設定を変更しているときは、変更を保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。	—
位置・サイズ調整	位相調整	画面にノイズが出る場合や、文字などの輪郭がぼやける場合に調整します。*1	*5
	クロック調整	画面に縦の縞模様(モアレ)が出る場合に調整します。*1	*5
	位置調整	画面の表示位置を調整します。△▽◁▷で調整します。	*5
	拡大表示	1280×1024ドットより低い解像度で使用する場合に、画面全体に拡大して表示するかどうかを設定します。◁▷を押して選択し、MENUで決定します。	OFF/MODE1/MODE2 *6
	EXIT	前の画面に戻ります。設定を変更しているときは、変更を保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。	—
自動調整		信号レベル、画面のサイズ、画面の表示位置、位相、クロックが自動で調整されます。*2	—
色温度調整	ユーザー/5000K/6500K/9300K	画像の白色部分が赤味を帯びていたり青味を帯びている場合に調整します。印刷時やフォトレタッチ時など、ディスプレイの用途に応じて調整してください。*3	5000〜9300K
OSD設定	言語	設定メニューの表示言語を設定します。*4	日本語/ENG/DEU/FRA/ITA/ESP
	表示位置	設定メニューの表示位置を調整します。	—
	EXIT	前の画面に戻ります。設定を変更しているときは、変更を保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。	—
リセット		すべての設定を出荷時の状態に戻します。	—

*1 [自動調整]を実行しても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で調整します。【P20】

*2 画面の状態によっては、自動調整を行っても最適な表示が得られないことがあります。【P21】

*3 数値が大きいほど映像は青味を帯びます。

9300K ...... やや青っぽい白色です。OA用途の表示に用いられます。

5000K ...... やや赤っぽい白色です。印刷時の標準値です。

手動で設定する場合は、[ユーザー]を選択してください。

*4 OSやアプリケーションの言語は変更されません。

*5 使用する解像度やディスプレイの周波数によって異なります。

*6 MODE1:縦横比を固定して拡大　　MODE2:画面全体に拡大

● **画面の明るさは次の方法でも調整できます。**

① △ボタンを押します。

② 調整メニューが表示されたら、◁▷を押して調整します。

③ △またはMENUボタンを押して調整メニューを終了します。

● **コントラストは次の方法でも調整できます。**

① ▽ボタンを押します。

② 調整メニューが表示されたら、◁▷を押して調整します。

③ ▽またはMENUボタンを押して調整メニューを終了します。

ワイヤレスマウスの使いかた（マウス付属モデルのみ）

マウス付属モデルに付属しているワイヤレスマウスの使いかたを説明します。

注 意

ワイヤレスマウスは、Windows以外のOSやMacintoshでは使用できません。

注 意

パソコンとFTDのPS/2マウス端子を接続するときは、必ずパソコンとFTDの電源をOFFにしてください。OFFにしないで接続すると、破損する可能性があります。

準備

パソコンとFTDを接続し、マウスに電池を入れます。

1 パソコン→FTDの順に電源スイッチをOFFにします。

2 使用しているパソコンに合わせて、次のいずれかの方法でパソコンとFTDを接続します。

- **Windows98でUSB端子を装備するパソコンを使用している場合**
  パソコンのUSB端子とFTDのUSB端子を、付属のUSBケーブルで接続します。
  D-sub端子に接続したパソコンはUP1端子に、BNC端子に接続したパソコンはUP2端子にそれぞれ接続します。

- **Windows95やWindowsNT4.0を使用している場合、またはWindows98でUSB端子を装備していないパソコンを使用している場合**
  パソコンのPS/2マウス端子とFTDのPS/2端子を、付属のPS/2ケーブルで接続します。

※ **ケーブルの接続方法は、P11を参照してください。**

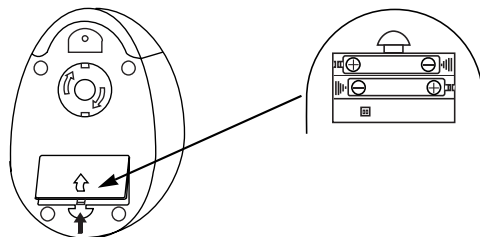
※ **USBケーブルでパソコンとFTDを接続した場合、USBのドライバをインストールする必要があります。画面の指示に従って操作してください。**

3 付属の単4アルカリ乾電池をマウスに入れます。

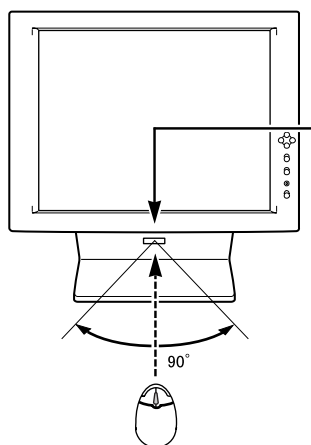
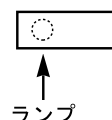
注 意

乾電池の向きを間違えないよう注意してください。

注 意

必ず単4アルカリ乾電池を使用してください。

マウスの操作範囲

画面の中心から左右に45 °の範囲内で使用できます。

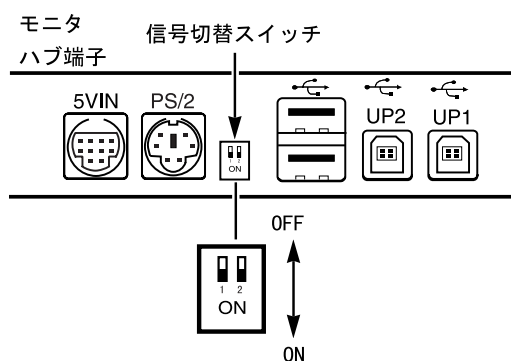
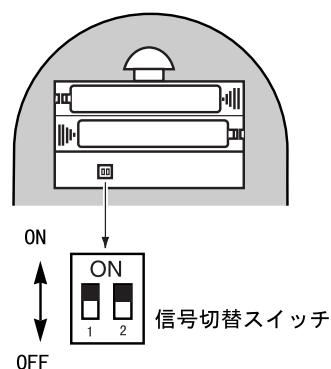
マウスを操作するときに、マウスとFTDの受信部との間に信号をさえぎる物を置かないでください。マウスの動作が不安定になったり、動作しなくなることがあります。

複数のディスプレイを並べて使用するとき

複数のディスプレイでそれぞれワイヤレスマウスを使用すると、互いに影響を及ぼすことがあります。そのときはマウスの信号を切り替えることで、他のディスプレイへの影響を防ぐことができます。

次の表を参照して、マウスとFTDの信号切替スイッチを切り替えてください。

	スイッチ1	スイッチ2
出荷時設定	OFF	OFF
*1	OFF	ON
*2	ON	OFF
*3	ON	ON

マウスとFTDのスイッチは、必ず同じ設定にしてください。

<FTD背面>

<付属マウスの電池カバー内>

困ったときは

FTDを使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明しています。これらの調整を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

画面に何も表示されない

原因① 専用D-sub15ピンケーブルと、FTDまたはグラフィックボードとの接触不良が考えられます。

原因② パソコンに取り付けたグラフィックボードの接触不良が考えられます。

原因③ パソコンに取り付けたメモリの接触不良が考えられます。

対応①〜③ パソコンとFTDの電源スイッチをOFFにし、グラフィックボード、専用D-sub15ピンケーブル、メモリを接続し直してください。

原因④ 輝度が最も低い状態に設定されている可能性があります。

対応④ 設定メニューの[明るさ]で画面の明るさを調整してください。【P16】

原因⑤ FTDの電源スイッチがOFFになっているかサスペンドモードになっている可能性があります。

対応⑤ 電源表示ランプが消えているときはFTDの電源がOFFになっています。電源ボタンを押してONにしてください。
電源表示ランプが橙色に点灯しているときは、サスペンドモード（パワーセーブモード）になっています。キー入力やマウスを動かすなどの操作を行って、サスペンドモード（パワーセーブモード）から復帰してください。

原因⑥ FTDが対応していない垂直同期周波数が選択されています。

対応⑥ 表示モードの設定時に、FTDが対応していない垂直周波数を選択しないでください。【P24「対応表示モード」】
万一、対応外の周波数を選択してしまった場合、画面が表示されなくなります（インターレースの場合は画面が分割されるなど、正常な表示が行えません）。
その場合は、次の方法で正しい周波数を選択し直してください。

<Windows98/95の場合>
WindowsをSafeモードで再起動し、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

<WindowsNTの場合>
WindowsをVGAモードで再起動し、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

<Windows3.1の場合>
DOS上でSETUP.EXEを起動し、ドライバにVGAを選択してからWindowsを再起動してください。再起動後、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

※ **設定可能な垂直同期周波数は、「対応表示モード」【P24】で確認してください。パソコンに搭載しているグラフィックボード（パソコン内蔵のものも含む）によっては、設定範囲以外の数値を選択できる場合がありますが、必ず本製品の対応周波数の範囲内で選択してください。**

Windows98/95、WindowsNT4.0の画面でタスクバーが表示されない

原　因　仮想スクリーンモードで、画面の下側が表示領域の外に出ています。

対応①　マウスカーソルを画面の一番下に移動すると、画面全体がスクロールしてタスクバーが表示されます。

対応②　仮想スクリーンモードを使用しないようにするときは、次の操作を行って解像度を下げてください。

1. **デスクトップ上でマウスの右ボタンをクリックします。表示されたメニューから[プロパティ(R)]を選択します。**
2. **[画面のプロパティ]ダイアログボックスが表示されたら、[設定]タブ(Windows95の場合は[ディスプレイの詳細]タブ、WindowsNT4.0の場合は[ディスプレイの設定]タブ)をクリックします。**
3. **[画面の領域](Windows95、WindowsNT4.0の場合は[デスクトップ領域])のスライドバーをドラッグして、解像度を下げます。**
4. **[OK]ボタンをクリックします。**
5. **画面の指示に従ってWindowsを再起動します。**

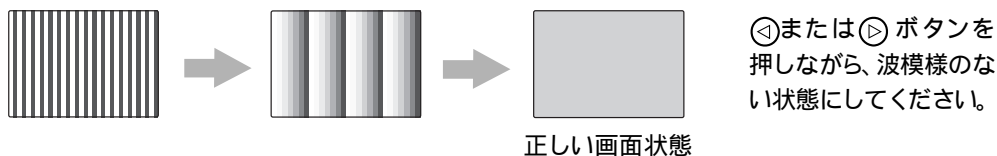
画面に縞模様(モアレ)が生じる

原　因　2〜3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示していると、モアレと呼ばれる干渉縞が表示されます。

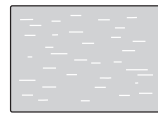
対応①　FTDの設定メニューを起動し、自動調整を行ってください。【P15】

対応②　自動調整を行っても縞模様が解消されない場合は、次の操作を行ってください。

1. **FTD付属の「LCD Utility Disk」をフロッピーディスクドライブにセットし、ディスク内のLCDADJ.EXEを起動します。**
   Windows98/95、WindowsNT4.0以外のOSやMacintoshを使用しているときは、2〜3色のドットが平行に隣接したパターンや格子状のパターンを画面に表示してください。
2. **FTD前面のMENUボタンを押して設定メニューを表示します。**
3. **△または▽ボタンを押して[位置・サイズ調整]を選択し、▷ボタンを押します。**
4. **△または▽ボタンを押して[クロック調整]を選択します。**
5. **◁または▷ボタンを押して最適な画面表示になるように調整します。**

◁または▷ボタンを押しながら、波模様のない状態にしてください。

6. **△または▽ボタンを押して[位相調整]を選択します。**

次のページへ続く

7 ◁または▷ボタンを押して最適な画面表示になるように調整します。

◁または▷ ボタンを押しながら、
ノイズのない状態にしてください。

8 最適な表示になったら△または▽ボタンを押して[EXIT]を選択し、MENUボタンを押します。

9 「設定内容を保存しますか」と表示されたら、▷ボタンを押します。
設定メニューが終了します。

10 リターンキーなどの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックします。
LCDADJ.EXEが終了し、通常のWindows画面が表示されます。

対応③ デスクトップパターン(壁紙)にモアレが生じるときは、各OSのヘルプを参照してデスクトップパターンを変更してください。

ノイズが出ないよう調整したにもかかわらず、アプリケーション実行時に画面が乱れることがある(特に動画再生時)

原　因 画面の調整中に、ノイズが解消できるポイント([位置・サイズ調整]－[位相調整])の設定値が2箇所ある場合があります。2つの解消ポイントでの画面表示は同じように見えるため、どちらを設定値に選んでもノイズは除去できたように見えますが、設定値が異なるため、調整後のアプリケーション画面でノイズが発生することがあります。
その場合は、選択したポイント以外のポイントを選択し直す必要があります。

対　応 再度[位置・サイズ調整]－[位相調整]でノイズを除去する設定を行ってください。このとき、一度出荷時設定に戻すと設定しやすくなります。

自動調整で思い通りの結果が得られない

原　因 適切でない画面表示のときに自動調整を実行しています。

対　応 調整結果は実行の際に表示されている画面に影響されるため、次のような場合は最適な状態に調整できないことがあります。
・DOS画面など黒色部分の多い画面を表示している場合
・自然画のように明暗のはっきりした境界が少ない画面を表示している場合
・画面がディスプレイ一杯に表示されていない場合

Windows98/95、WindowsNT4.0を使用しているときは、付属ディスク「LCD Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行した画面で自動調整を行うことをおすすめします。
Windows98/95、WindowsNT4.0以外のOSを使用しているときは、適切な画像を作成して表示することをおすすめします。

上記の対策を行っても、画像信号の状態によっては(複数に分岐している、ノイズがのるなど)十分な結果が得られないことがあります。あらかじめご了承ください。

電源をONにして約30分経過すると、画質が変わってしまう

原　因　前回、FTDの電源をONにした直後に画面の調整を行ったことが原因と考えられます。

対　応　電源をONにしてから本製品内部の電気部品の動作が安定するまでに、30分程度必要です。この間に調整を行うと、30分程度経過した頃に再調整が必要な場合があります。その場合は、お手数ですが再度調整を行ってください。

FTDに接続したUSB機器が使用できない

原因①　ケーブル類が正しく接続されていません。

対応①　P11を参照し、次の点を確認してください。

・FTDの電源ケーブルはACコンセントに接続されているか
（正しく接続されている場合、FTDのリモコン信号受信部のランプが点灯します。）

・DC5Vケーブルが正しく接続されているか

・USBアップストリーム端子とパソコンのUSBダウンストリーム端子が正しく接続されているか

原因②　使用しているOSがUSBに対応していません。

対応②　FTDのUSBハブは、Windows98を搭載したパソコンでのみ使用できます。

※ Windows95でのUSB機器の動作は保証しておりません。詳しくはパソコンのマニュアルを参照してください。

原因③　パソコン本体のUSBに関する設定が間違っています。

対応③　パソコンのマニュアルを参照し、USB環境が正しく設定されているか確認してください。

ワイヤレスマウスが使えない

対　応　次の点を確認してください。

・マウスに乾電池が入っているか、電池の向きは正しいか【P17】

・マウスとFTDの信号切替スイッチが正しく設定されているか【P18】

・FTDのリモコン信号受信部のランプが点灯しているか【P18】

・DC5Vケーブルが正しく接続されているか【P11】

・USBケーブル、またはPS/2ケーブルはパソコンに正しく接続されているか【P11】

仕様

製品仕様

パネルサイズ	18.1型
解像度(最大)	SXGAサイズ(1280×1024ドット)
表示面積	359(横)×287(縦)mm
ドットピッチ	0.2805(横)×0.2805(縦)mm
色数(最大)	1677万色(フルカラー)
輝度	235cd/m² (平均)
コントラスト比(平均)	300:1
視野角度(平均)	上下/左右　各160°
入力信号(アナログ)	映像信号:アナログ0.7Vpp/インピーダンス75Ω
同期信号	セパレート/コンポジット、TTLレベル(正/負) シンクオングリーン0.3Vpp負(映像:0.7Vpp正)
USB端子	端子　アップストリーム(シリーズB)×2、 ダウンストリーム(シリーズA)×3 規格　USB規格:Rev 1.0適合
PS/2端子	パソコンのPS/2マウスポートに接続
ワイヤレスマウス機能	赤外線式4チャンネル信号切替可能 (DOS/V機にのみ対応)
その他	プラグ&プレイ機能:　VESA DDC1、DDC2B パワーマネージメント機能:　DPMS
映像入力端子	D-sub 15ピン(ミニ、3列タイプ) BNCコネクタ
対応周波数	水平 24～82KHz　垂直 30～120Hz
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	通常:70W(USB端子未使用時) 最大:80W(USB端子にUSB機器接続時) 省電力モード時:7W(USB端子未使用時)
外形寸法	455(W)×433(H)×230(D)mm
重量	7.9kg (本体のみ)
動作環境	温度　10～35℃ 湿度　(結露無きこと)

※ NEC PC-9821/9801シリーズのうち、D-sub15ピン(3列)のアナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※ Macintoshのうち、D-sub15ピン(3列)のアナログRGBコネクタを装備していない機種に接続する場合は、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAを別途用意してください。
【P13「Macintoshを使用しているとき」】

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。

対応表示モード

次の表示モードに対応しています。

解像度 (ドット)	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
640×400	24～38	50～85
640×480	31～62	50～120
720×400	31～38	50～70
800×600	35～77	51～120
832×624	48～50	73～75
1024×768	44～82	54～100
1152×864	53～77	60～85
1152×870	61～72	60～76
1152×900	61～72	60～76.1
1280×960	60～75	60～75.1
1280×1024	31～82	30～76.1

OSD機能について

OSDとはオンスクリーン ディスプレイの略称です。
ディスプレイ表示に関する設定項目の選択やその調整の度合いを、実際にディスプレイ上に表示させて確認しながら調整するための機能です。
画面の表示サイズや表示位置、輝度、コントラストなどを設定できます。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム) [ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは、承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

本製品の規格に関して

弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)です。住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しています。
しかし、本製品をラジオやテレビ受信機などの近くで使用すると、受信障害の原因となることがあります。本書に従って、正しく取り扱ってください。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

FTD-G18AG-Iシリーズ ユーザーズマニュアル

1999年11月2日 初版発行
発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

http://www.melcoinc.co.jp/
（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

052-614-6911
情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、
音声案内に従って操作してください。
※ プッシュ信号（ピ・ポ・パ音）の出るFAXを使用してください。

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

液晶ディスプレイ・コンポーネントパソコン専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7871
月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1792
月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）

「メルブック」シリーズ

①メモリを知ろう
②LANを知ろう
③外部記憶装置を知ろう
④Windowsを知ろう
⑤386マシンをマルチメディアパソコンにする
⑦CPUアクセラレータを知ろう
⑪イメージクリップセットとWordで年賀状をつくろう
⑫外部記憶装置をグレードアップしよう
⑬イメージクリップボードでホームページをつくろう
⑭インターネットを始めよう
⑮ミニコンポ 企業での導入事例

1冊1,000円(税別)＋送料270円　※書店では販売しておりません。

お申し込み先
- ・インターネット http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html
- ・FAX情報 .... 052-614-6911(BOX No.0800)
- ・郵送 .... 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ 備品販売窓口